

施し、市道以外は道路管理者に要望していきたい。

(市長)

吉備路郷土館について

問 岡山県財政構造改革プランにより県立吉備路郷土館が廃止になるが、周辺の維持管理は本当に県がすることになっているのか。建物については、観光と結びつけた体験講座や歴史講座の開催等を考慮し、リピーターを誘導できる事業を展開するなど、活用方法を検討したかどうか。また、指定管理者である吉備路風土記の丘環境保全協会が運営する事業はどの程度関連があり、それを引き継いでいくのか。

答 平成22年に譲渡を受けるので、市立美術館という案も含めて意見を聞きながら、検討していきたい。県との協議では、市は建物と敷地のみの管理で、周辺県有地は県が維持管理することになっている。総社市の利益を損なうような条件が出た場合は、県の言

笠原 武士

来年度の予算編成について

問 ① 税収の減少が予想される中、加配の先生を増やす小1グッドスタート事業は現場で好評を得ているが、県の合理化策により予算が減少しており、予算確保等の対応はどのようになっていくのか。また、障がい児教育で支援員を配置して応援しているが、今後どうなるのか。
② サロン等での元気老人対策は、どのようにしているのか。
③ 土木担当員の要望、地域のインフラ整備をどのように考えているか。

答 ① 小学校の現場を回ってみて、小1グッドスタート事業は児童の安心感や学力アップに寄与しており、教室に活気があった。この予算減額を断固阻止するように知事に申し入れたら、来年度も継続されることになった。9か月が県費、残る3か月が市費で完遂する

いなりになることなく、市としての意見を主張していく。

(市長)

指定管理者が行っているのは、展示、企画展的なものを含めた管理運営、県有

服部 剛司

市長の政治姿勢について

問 ① ガラス張り公開市長室で、子育て王国、観光プロジェクト、夜間医療体制の整備、人事考課制度などを公約しているが、変わったように思えない。どのように変わって、どう進めていこうとするのか。
② 来年度予算と地域主義、弱者主義の予算効率との関係はどうか。
③ 県立博物館の建て替えを市を挙げて県に要望していくべきだが、その後の見通し、今後打っ手はどうか。また、阿曾分館を地域文化の殿堂、コミュニティセンター、生涯学習センターとしてふさわしい大会議室等、大きなものを建設してほしいがどうか。

よう来年度以降も同様を実施したい。また、障がい児への特別支援教育支援員等も市費で配置しており、来年度以降も同様配置したい。
② 介護予防事業に力を入れ、高齢者サービス事業、ふれあいサロン育成事業への助成、老人クラブ活動への助成等も行っている。特にふれあいサロンの育成については、実施箇所も年々増加しているが、1件当たりの予算の減額はしない方針である。茶話会やレクリエーションを通じて高齢者の生きがいづくり、健康づくりを地域で企画運営しており、身近な公会堂などで実施されるサロン事業活動には特に力を入れていきたい。
③ 今年度予算が2500万円増額、前年度対比18・

地の管理。譲渡を受けた場合は、県は一切関与せず、市が活用方法を考えたもので運営をしていくこととし、周辺は県の管理となると聞いている。

(教育次長)

答 ① 市民が自ら考え実行していく目標設定として、プロジェクト、審議会

で協議をするプログラムをつくっていくべきと考えた。子育て論では、親の子育て労力の軽減により地域を愛するやさしい人間を形成するため、子育て王国を標榜し、その結果として小学校6年生までの医療費の無料化でも、節度ある医療が推進できたという意識改革がその表れと思う。様々な項目の赤ちゃん事業も職員のやる気が起こったことが大いなる変革と考えている。観光プロジェクトでも具体論を8分科会で検討、総社



ふれあいサロン

7%増であるが、十分とはいえない。財政難ではあるが、この部分は減額をしな

(市長)

雇用促進住宅への対応について

問 雇用促進住宅を逐次廃止する動きがあるが、国からの払い下げ、移管を受けた場合の対応について市の考え方を聞きたい。

制での整備が進んでおり、今後も詰めめの議論を進めていきたい。人事考課制度は、権限委譲などに対処する政策立案能力や職員のやる気を起こすために考えていくが、試行段階で問題が出れば、マイナーチェンジをしながら自立できる職員をつくっていく物差しとしたい。
② 財政力が増したとはいえず、借金を抑えたスリムな予算とするが、中山間地域の悩み、インフラ整備の遅れを



改築される東公民館阿曾分館

敷地を確保し、現状より広いスペースの部屋の必要性を勘案し、平成21年度に建設すべく地元と規模、内容を協議している。今後、保健福祉分野、子育て分野で新たな需要が見込まれることから、一定の部屋数や建物面積を確保したい。(教育長)

答 譲渡や廃止時期について本市に協議があったが、平成20年度末までに譲渡希望がない場合、民間への売却が不調な場合は、平成19年12月に閣議決定された独立行政法人整理合理化計画により住宅を廃止することになる。真壁、井尻野、上原の各

村木 理英

ゲリラ豪雨に対する溝の排水について

問 異常気象により1時間当たり50mm以上の雨が降るゲリラ豪雨が各地を襲っているが、20mmから40mmの雨量で床下浸水が起こる市内の現状に対してどう考え、対応のシステム化などをどのように考えているのか。

答 9月に1時間40mmの雨が門田、中央二丁目、中原等に大きな被害をもたらした。水路からの冠水が発生した。ゲリラ豪雨は予測がつかなく、正確な対応が非常に困難であるが、あらかじめ大雨が予想される場

宿舎は平成23年度末の前期廃止予定にはないが、国において引き続き責任をもって管理運営してもらうよう働きかけていきたい。(市長)

◇

このほか、定額給付金の支給、裁判員制度についての質問をしています。
合は、湛井十二箇郷用水の取水を早急に停止して対処している。近年の宅地化により田畑等の遊水地がなくなり、出水時間が早くなっているため、注意報、警報発令時には断水または減水している。市内の用水路は用排水兼用で、取水を停止すれば排水路の機能を果たすことになり、相当量の排水を期待できるが、水の流